

## 会 議 録

会議の名称	平成23年度第8回富士見市社会教育委員会議
開催日時	平成24年3月12日（月）午後7時～9時30分
開催場所	鶴瀬西交流センター 1階 集会室
出席者	中澤佳珠代委員、前田憲之委員、羽石貴裕委員 西山ひろみ委員、武田秀規委員、児玉亮一委員 長ヶ原美博委員、田尻 円委員、高野昂子委員 事務局（生涯学習課長、副課長、主任）
欠席者	1人（佐藤晃子委員）
公開・非公開	公開（傍聴人 0人）
会議次第	1. 協議事項 （1）協議テーマについて 2. 報告及び連絡事項 （1）平成23年度入間地区生涯学習フォーラム （2）入間地区社会教育協議会第5回社会教育委員部会 （3）その他 3. その他 （1）社会教育関係団体への補助金交付について （2）会議の開催について
会議資料	①公民館だより3月号 ②平成24年度富士見市教育行政方針 ③アンケート調査協力のお願（案）
会議録確認	西山ひろみ委員

## 会 議 内 容 (要点記録)

### ○ 議長あいさつ

### ○ 報告及び協議事項

#### 1. 協議事項

##### (1) 協議テーマについて

・事務局から、議長・副議長、佐藤委員により 2 月 22 日の行った協議のまとめを以下のとおり報告を行う。

##### ●テーマ案…「社会教育関係団体の活性化に関する研究」

※ここで想定した団体は、PTA や子ども会育成会、行政が依頼して出来た団体など。「社会教育関係団体」と明確にするか、もしくは「社会教育に関する団体」などにするかは協議が必要である。

##### ●内容案

・団体内の高齢化や活動の行き詰まり、形骸化などが目立つ中で、団体や活動を活性化し、また継続させていくしくみや取り組みのあり方を検討し、改善提案をおこなう。また、そのための行政の役割や団体と行政の関係性のあり方についても検討し、提案していけるとよい。

##### ●進め方 (案)

・4 月までに社会教育関係団体に対するアンケート調査を実施し、社会教育関係団体の現状把握をおこなう。(悉皆調査)

・調査対象は、リーダーだけでなく、メンバーにもおこなう。

・調査内容は、団体や活動を進めている上での悩み、団体や活動を活性化させるための工夫・取り組み、メンバーの入れ替え?のやり方や後継者育成の工夫・取り組み、地域への理解や定着をはかる取り組みなど。

・調査結果から(分析する際に)、地域性の違いなども浮き彫りに出来ると良い。

(委員) 今回の協議では、後継者育成ということでテーマを絞るのではなく、担い手をどう考えていくかということで、アンケートをとることを考えた。団体などの活動を含め、掘り下げたデータを取りたい。後継者育成というよりは「なかまづくり」なのではないかと考え、テーマも出した。

・ここで、提案委員から会議資料「アンケート」の説明を受けた。

(委員) このアンケートで、進め方にある現状把握を4月までにできるか。期日と内容、どちらを優先するのか、皆さんで協議したほうがいい。どのくらいの団体から取ることを考えているか。

(委員) 4月までには難しい。できるだけ団体ごとに多くの方から書いてもらうほうがいい。

(委員・議事進行) アンケートを案として出していただいたので、意見交換をしてほしい。

(委員) このアンケートは、かなり深く考えていかないと答えるのが難しい。問6や問7には、自由意見欄があったほうがいい。結婚の経験については聞き方の検討も必要である。問13は、やわらかい表現にしたほうがいい。

- (委員) アンケートのボリュームがありすぎる。記入する立場になって、分量を減らしたほうがいい。
- (委員) 後継者育成と地域活動経験を切り分けることはできるが、このアンケートの意味がなくなる。実際に活動している方は、いろいろと書きたい方もいると思う。
- (委員) 今回の作成趣旨を生かして、もう少し簡略にしてほしい。まずは答えてもらうアンケートにして、その後じかに聞き取ることでよいと思う。
- (委員) 本当に聞きたい部分を書いてもらうにも、活動に関わることになった導入部分を振り返ってもらい、そのきっかけを考えて書いてもらうことが大事ではないか。そのことから、これだけの分量は必要になる。
- (委員) 団体など配布先やその回収数についても、もう少し検討が必要である。団体リストも整理していかなければならない。4月に回収するという期日は難しいと思う。
- (委員) このアンケートから何をつかんでいくのかを考え行わないとならないと思う。そういう意味では、必要な内容を考慮したものにするべきと思う。
- (委員) 対象団体については、社会教育関係団体といっても様々あると思う。今のアンケートは漠然とした形で作成している。対象団体が限定されるとそれに応じ変える必要がある。あまり分野を絞りたくないと考えている。
- (委員) 後継者育成というテーマを決めてきたとき、対象は特に限定していなかった。いろんな団体に意見を聞いて、どんな働きかけをしたら活動に参加してくれる方が来てくれるのか、活動をやろうと思うのかを考えていきたいということだったと思う。
- (委員) 団体に偏りがあってはならないのではないかと。均等にすべきであると思っている。対象とする団体はピックアップが必要である。
- (事務局) 対象を絞るためのサークルや団体の資料を出すことは可能です。
- (委員) 後継者育成について、困っている団体や成功している団体などあると思う。そういうところから、意見や成功の方策などを出してもらうことも目的にあると思う。団体の代表だけでは実態がわからない。その意味で、団体の何人かに聞くことが必要である。
- (事務局) アンケートについては、再度委員の皆さんにみていただく。団体については事務局で候補をあげる資料を出していくこととする。アンケートの意見については、3月26日までに事務局に意見を寄せていただく。そして、それをみなさんに戻していくこととする。
- (委員) スケジュールリングを検討したほうがいい。
- (委員) 4月7日の委員会には、アンケートを完成することでよいのではないかと。
- (事務局) 検討テーマは1本に絞ってすすめることで、正副議長と相談をして、これから1年間の計画を作成することにした。
- (委員：議事進行) 次回までに正副議長と佐藤委員と調整していただくということで、了承。

## 2. 報告及び連絡事項

### (1) 平成23年度入間地区生涯学習フォーラム

(2月28日(火)午後1時20分～午後4時 市民文化会館キラリふじみ)

- ・事務局から、富士見市からの参加者が多かったことと今後、報告書が出されることを報告。

### (2) 平成23年度入間地区社会教育協議会第5回社会教育委員部会

(2月10日(金)午後3時～ 狭山市中央公民館 )

- ・平成23年度入間地区生涯学習フォーラムの件、今年度の部会の事業報告と次年度事業計画について協議されたと報告があった。

## 3. その他

### (1) 社会教育関係団体への補助金交付について

- ・事務局から以下のとおり説明があった。

社会教育法第13条に基づき、社会教育に係る補助金の交付に関する下記の事項の意見を伺う。

平成24年度社会教育関係団体に対する補助金の交付について(案)

① 対象とする社会教育関係団体 ・子ども大学ふじみ実行委員会

② 目的 この補助金は、社会教育関係団体の自主性を尊重しつつ、団体が行う社会教育的に意義のある事業に対して必要な経費を補助し、もって富士見市の社会教育の振興と地域教育力の向上に資することを目的として交付する。

③ 執行予定額 執行予算額は140千円を予定している。

(委員) 富士見市の学校の先生は入っていないのか。

(事務局) 講師は大学の先生や企業の方などになってもらい、子ども向けの講義を行っていくものとなっている。

(委員) ほかの子ども大学で、子どもの意見が入っていないと聞いた。子どもが本当に知りたいことや興味のあることを行うなら、いいことと考える。子どもの代表が実行委員会に入ることなども考えてもいいのではないかと思う。

(事務局) 実行委員会にも意見を伝えていきたい。

### (2) その他

- ・次回の日程は、4月7日土曜日、午前9時30分からとする。改めて、通知する。

(閉会)